

令和4年度
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす重久

◆事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和⁵~~4~~年3月30日

小規模多機能ホームおあしす重久

霧島市国分重久411番地3

電話 0995 (48) 5866

FAX 0995 (48) 5877



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 5 年 2 月 27 日 (19:00~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	0人	1人	13人

前回の改善計画	利用開始前は、事前情報の把握やミーティングを適宜行いながら本人・家族の思いに寄り添い、困り事や生活状況を通して早期に適切な支援が出来るようにする。開始時は、職員連絡帳やミーティングを通して情報共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務に入る前に職員連絡帳を見、ミーティング等にて情報収集している。不明な点は管理者などに確認しており、利用者様を知った上で業務に従事している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	0	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	0	1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	2	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前は、ミーティングや職員連絡帳にてサービスに必要な情報やニーズを共有している。 ・本人、家族の意向にズレがあることもあるが、専門的判断を踏まえ、ご家族や地域資源等を活用しながら必要なサービスを提供している。 ・利用開始時の利用者様は不安や警戒心があることを前提として接し、少しでも軽減できるようにコミュニケーションを多くして、表情や席など配慮している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・実際に関わってみると事前情報等が異なっていることもあり、困惑することもある。 ・ご家族が遠方におられ、就労などで中々お会いできない家族もあり、全利用者様のご家族との関係づくりはできていない方もおられる。 ・送迎時にご家族に直接話をする機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・新規利用者様は不安がある事を、意識してコミュニケーションを多く図り関係構築に努める。 ・利用者様・ご家族様と送迎時、面会時等 お会いする機会に情報を把握して、周知情報共有するように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月27日(19:00~21:00)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	1人	1人	13人

前回の改善計画	利用者様本人の希望する「長期的目標」及び、それを実現する為の「短期目標」を知る。そして介護記録の際も「短期目標」を意識した記録(評価)が行えるようになる
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関わりで、利用者様の「～したい」を引き出せるように意識した介護、記録に心掛け 利用者様の「～したい」を聞けるように、声のかけ方や雰囲気作りを心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	8	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	2	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	4	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	10	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の目標はケアプランやミーティング等で、把握する事が出来た。日々変わる想いを引き出すように心がけ、ミーティング等にて共有もできている。 「～したい」の実現や継続ができるように自立支援を心がけている。 日々の関わりの中で利用者様の声に耳を傾け、報告をするとともにミーティング等で共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「～したい」の実現は比較的、自分の想いを発信できる方が多く、発語のない方への「～したい」の発見や関わりが難しい。 ・利用者の「～したい」を、引き出せても、どんな想いがあるのか、日常の些細な関わりの中に「～したい」があるものだが、引き出していても想いの言語化ができていないため、実践に繋がらないケースもある。 ・ミーティング等で話が出てその時だけで終わることもあり、次の対応ができないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の関わりで得た利用者様の「～したい」は関わった職員が確実に記録に残し、日々変わる「～したい」も把握出来るように傾聴を心がける。また言語化出来ない方の「～したい」を日常の関りの中から感じ取れるように努め、知り得た情報を職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年2月27日(19:00~21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	2人	13人

前回の改善計画	利用者様が自分らしい暮らしをしていた時期の「以前の暮らし」を意識的に把握し、これまでの暮らしを支援出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時やミーティング等で情報収集した、日々の関わりにおいて把握するよう努めており、全利用者様ではないが、概ね「以前の暮らし」を周知出来たが、新型コロナ禍の中で、社会資源を活用するまでは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4	6	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	0	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様やご家族などからも「以前の暮らし」について意識して情報収集している。あまり会う機会がない方は、ミーティングや台帳などを見て情報収集・共有している。 ・表情や行動などから利用者様の思いなどスタッフ間で随時話し合いケアに繋げている ・ご家族の協力を得る場合もある。体調変化については専門職から助言を頂き、主治医へ相談等臨機応変に対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし」10個以上の把握が難しかった。 ・利用者の社会資源についての把握が出来ていない ・コロナ禍で、地域交流がほとんど出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者様の「以前の暮らし」を把握出来るように日々の関わりで努め、利用者様一人一人の生活上の繋がりへの理解を深め、得た新たな情報は記録して職員間で共有して生活を支援できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月27日(19:00~21:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	9人	1人	13人

前回の改善計画	利用者様ひとり一人の生活上のつながりが一覧できる軒下マップへの理解を深め、本人を取り巻く社会資源を把握し、支援に生かせるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・一部利用者様の民生委員との関わりをもつことができたが、一人一人の生活上の繋がりが一覧できる軒下マップについては、コロナ禍の中全員の社会資源を把握出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	4	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	6	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	7	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	10	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・出来るだけ家庭(自宅)で、過ごせるように環境作りに努めている。 ・民生委員や近隣の方などへの声掛けや顔の見える支援に努めている。 ・地域の方との関りがあった際は記録に残し職員間で、周知に努めている。 ・利用者が、地域との関係が切れないように支援出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自分自身が利用者様の地域に出向くことがないため、地域との関係を把握できていない。 ・利用者の社会資源について把握出来ていない所がある。 ・コロナ禍で、地域交流がほとんど出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域との関わりについて、送迎や訪問、その他の機会などで、地域の方々とお会いした時は挨拶等交流を図りしっかりと情報収集し、随時記録を残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月27日(19:00~21:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13人

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画	・ 個々の利用者様を取り巻く「地域資源」を把握し、事業所以外の地域にある機能として、事業所と合わせて暮らしの支援が出来るようにする。 ・ 利用者様の変化については、身体面以外で気持ちの変化や良い面の変化等他方面から、適宜適切な支援に生かせるようにする。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・ 個々の地域資源を把握することはできなかったが、一部の利用者様の地域の方と交流を通して気持ちにより添い適宜適切に支援することが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	5	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	9	0	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 利用者様や家族の状態に応じてニーズにそったサービス提供ができている。 ・ 利用者様の体調、ご家族の状況に合わせて利用日の変更、利用時間の調整宿泊等、利用に繋がっている。 ・ 日々の関りや記録から変化に気づき情報を共有することが、出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 事業所がある地区以外の地域資源の把握はできていない。 ・ 本人、家族の意向やアセスメントにもとづいて概ね適切な量を提供できていると思われるが、もう少し、家族や地域の力を引き出せばよいと感じる利用者様もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 利用者様や家族、関わる地域の方々から話を聞き、本人を取り巻く地域資源を一人でも多く把握して利用者様の思いに柔軟に対応出来るように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月27日(19:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	1人	13人

前回の改善計画	しばらくコロナ禍の対応は続き、地域とのこうりゅうは制限されることが、予測される中で、感染防止対策を厳重に行いながら、地域との関わりが持てるように工夫する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の対応続く中、体制的に職員参加は難しかったが、聴き取り及び記録参照がほとんどだった。地域の会議においても、機会も多くはなく、事業所の判断を求められることから管理者が出席していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	5	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	6	6	1	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	4	7	0	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	6	7	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・市、社協、包括などが、実地する認知症サポーターなど参加することが出来た。 ・正月の門松作りを地域の方と協働して作ることが出来た。 ・サービス機関の連携はケアマネ、所長が行い感染防止対策を行い外出の機会は増えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で、地域への訪問に制限がある。 ・会議が開催される場合、事業所としての判断が必要なケースを伴うことも多々あるため、管理者が、参加するのが多く職員が参加することが難しかった。 ・事業所がある地域以外の行事やイベントなどへの参加はほぼない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染対策を行い、事業所がある地域や地域以外に住んでいる利用者様の地域行事や活動を聞き、その情報収集を行い参加できるように支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月27日(19:00~21:00)

7. 運営

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	4人	13人

前回の改善計画	小規模多機能ホームの職員としては登録利用者様以外の方々や地域の困りごとに気付いたり、考えるように心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスや職員会議により職員の気付きや、近隣地域の方からの情報を話し合う事で共有することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	7	3	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	0	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	4	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見を言いやすい環境であり、積極的な発言はできている。また、気になることはその都度管理者に報告等を行えている。ミーティング時などで業務改善など話し合い、全体で良い事業所作りに取り組んでいる。 ・利用者様、家族からの意見や苦情は、職員で共有しすぐに対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働できない事が多かった ・コロナ禍の影響で、地域の方々からの意見を伺う機会がなかった。 ・職員が地域行事に参加することが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・コロナ禍であっても出来ることを職員間で話し合い、感染対策を行い、地域の行事・活動に参加出来るように努めます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月27日(19:00~21:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	1人	13人

前回の改善計画	・専門職として職能団体への積極的な加入や研修参加を目指し、スキルアップや自己目標に即した研修を受講出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・スキルアップや自己目標のため研修(ズーム研修)に参加して各職員が質の向上のために努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	11	0	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	6	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	3	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	3	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場内研修を職員会議時に行っており、参加に努めている。 - 施設外研修にもズーム中心に参加しており、研修に参加した職員は職員会議等で研修報告の、勉強会を行い学んだことを共有している。 ・ヒヤリハットや事故報告等全職員で取り組んでいる。事故発生時は申し送り・職員会議等で再発防止にむけて予防策を検討している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・施設内研修は職員会議等で行われているが、参加出来ないときは資料回覧を行っている。 ・施設外研修についてはズーム研修が中心で、対面での研修は参加出来ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・施設内研修に職員が、主体的に関り講師を分担し努めて、スキルアップに努める。 - 外部研修にも職員が参加出来るように情報を共有し参加機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月22日(19:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画	・高齢者施設の介護職員としての「接遇」について改めて学習し、人権やプライバシーの尊重に繋がる対応を心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員会議の中で、施設内研修として接遇に取り上げ学習することが出来、また外部研修で、接遇・人権・プライバシーについて学んだ職員が、伝達研修を行い共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	5		0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は行われていない。 ・定期的に勉強会を開催し身体拘束のない介護について考えている。 ・勉強会により権利擁護の理解ができているため、日々の業務の中でも意識できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スピーチロックにあたる「ちょっと待って」等がついつい出そうになることがある。 ・勉強会等で学んではいるが、今の所は成年後見制度を必要としている利用者様がいらない ・個人情報保護には留意しているが、時々記録等がテーブル上に置いてあり他者が閲覧できる状態となっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者様の人権を尊重して、プライバシーに配慮したケアに心掛ける。 ・個人情報の取り扱いにも十分に気を付け常に意識したケアに取り組む。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	「もうひとつのわが家」と思っただけよう利用者様を中心に家庭的な雰囲気作りに努めています。利用者様の得意なことを発揮して頂けるようにしています。職員は利用者様やホームのために自分ができることを考え、力を発揮してくれています。また、地域と積極的に関わり、地域に根ざした事業所を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす重久	管理者	瀬戸川るみ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価・事業所評価にてできていない点が少しでも改善できるように取り組む自己評価、事業所評価は常勤職員全員で取り組む。	自己評価、事業所評価は職員全員で取り組み達成出来ていない所を意見として取り上げることが出来た。	何とか出来たが多く、良くできているが、多くなれるように色々な事を意識して研修 地域活動、行政行事の参加に取り組めます。	事業所での運営推進会議の開催に職員の参加や避難訓練を地域に声掛けをしていき、行政・地域と交流を図れるように努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	- 利用者様、ご家族様だけでなく、来客者、業者さんにも元気よく挨拶をする。 - 事業所の前の公道で車が停車することがないように、敷地内のスペースを空けておく・運営推進会議やその他の機会で見学の場を設け、事業所を見ていただく。 - 整理整頓を心がける	- 玄関からですが、明るい環境で笑い声やカラオケの歌声が聞こえて作品も飾ってあり良いと思います - 整理整頓については、努めていると思います。	- 花をプランターに植えてあり玄関横に季節の飾りが、してあってよいと思います。 - 出入り口が狭いので、出入りが気になります。 - 雨降りの日に水溜まりが、出来なくなってよかった。	地域の方、利用者様、家族、来客お会いする近隣の方には、いつも元気に挨拶をして交流に努める。事業所の前の公道に出入りする際はゆっくり出入りする。
C. 事業所と地域のかかわり	- 事業所をより知っていただくために、地域の集まりにて宣伝する。 - 事業所の場所を分かりやすくするためにできることを追求する。事業所やまちかど介護相談所について、地域の集まりなどで宣伝させていただく。	感染状況を対策に十分気を付け交流機会を持つことが、なかなか出来ず、個別にお会いする機会や民生委員児童委員の方とは会議や、利用者宅に訪問されたタイミングでお会いできて会話をさせて頂いたり、電話を通してお話し交流機会を持つことが出来た。・年末には、一緒に竹取り・門松づくりに来てくださった。	- 年間を通して自治会の行事や活動もない状態が続いて、来られる機会も行く機会もなかった。 - 今年度は行事計画を確認して参加できるように努める。 - おあしすの場所がわかりにくい。	職員が、自治会主催の活動・行事に参加出来るようにシフトを調整して 交流できるようにします。また事業所を知って頂くため事業所の場所を分かりやすくするために職員で、看板を手作りして目印を作ります

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・おあしす便りは、行事、日常の様子が分かるように作成する。 ・利用者様の住んでいる地域内で一人は協力者を見つける。事業所の広報誌（おあしす便り）や運営推進会議での取り組みの報告は、主に行事のことが中心だったため、日常の様子も知っていただけるように工夫する。	・利用者様全員では、ないですが自宅の民生委員の方から連絡を頂いたり、電話で話したりと交流を 持つことが出来、自宅での支援に繋げる事が出来た。	・隣家庭を通り外出される為、出かけられたら情報収集することが出来る。 ・民生委員の方が、朝・夕安否確認に行っておさる。 ・隣家の方が、電気が暗い・電話が繋がらないと心配され様子を見に行っておさったり電話連絡をしておさる。	・おあしす便りは、行事、日常の様子が分かるように作成して、顔を知っていただけるように努め、利用者様の住んでいる地域内で一人でも協力者を見つけるようにしていく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・運営推進会議に近隣事業所への参加を呼びかける（目標は保育園、児童関連事業所） ・新たな自治会役員と関係作りに努め事業所を知っていただく。 ・体制を整え、運営推進会議にスタッフも交代で参加し、地域事情を知る。自治会だけでなく、東その山地区の民生委員にも運営推進会議のお声かけを行い、互いに連携を図れるよう関係構築に努める ・地域のお困り事の情報を集め、可能であれば協力させていただく。	・運営推進会議も今後は、集まって出来るようになってなれば議題や地域活動について運営推進会議の方と共に地域のお困り事の情報を集め、可能であれば協力させていただく事が出来るように努めた。	・利用者様全員では、ないですが自宅の民生委員の方から連絡を頂いたり、電話で話したりと交流を 持つことが出来、自宅での支援に繋げる事が出来た。	・運営推進会議に近隣事業所への参加を呼びかける（保育園、児童関連事業所、近隣施設） ・新たな自治会役員と関係作りに努め事業所を知っていただくように努める。 ・運営推進会議にスタッフも交代で参加し、地域の情報交換を行うようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・地域の防災訓練に参加する ・事業所の防災訓練に地域の方や近隣のご家族等へ参加・協力を呼びかける。 ・避難経路上に障害物をおかないようにする。事業所の防災訓練に地域の方の参加を呼びかける	運営推進会議が、資料配布のため推進会議中に実施することが出来なかった。	・非常口に物を置かないように、大切な命を預かるのでそこはしっかりと点検等を行ってほしい。 ・日常の中に防災訓練を取り入れることでより本番で動けるのではないかな。	地域の防災訓練に参加する事業所の防災訓練に地域の方や近隣のご家族等へ参加・協力を呼びかける。避難経路上に障害物をおかないようにする。事業所の防災訓練について計画を立てる間も運営推進会議での議題にあげて避難経路の整備等について検討をする。

			・災害用ヘルメットは、もっと すぐに使用できる所に置いた方 が良いのではないか。	
--	--	--	---	--

